

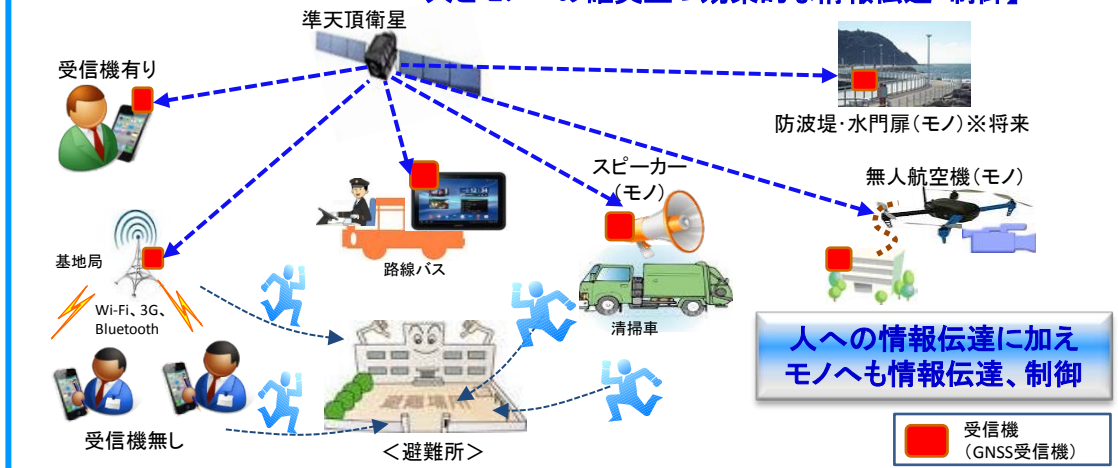
～時間や季節に応じた人的被害予測及び人やモノの位置に応じた情報伝達・制御で実現する防災モデル実証事業～

提案者	湘南広域都市行政協議会、神奈川県藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、慶應義塾大学、東日本電信電話(株)
実施地域	神奈川県藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
事業概要	首都直下地震の対策区域であり、東京オリンピック・パラリンピック開催時に多数の観光客が訪れる湘南エリアで、人やモノの静的・動的データを活用した被害予測及び人やモノの位置データに応じた適切な情報伝達・制御を実証し、津波等への防災・減災力を行政と住民等の力で強めていくレジリエントな地域社会を実現する。

【取組①：人やモノの位置データによる 時間や季節に応じた人的被害予測】



【取組②：準天頂衛星活用による 人とモノへの确实且つ効果的な情報伝達・制御】



【取組③：参加型センシングによる人のリアルタイムな位置情報把握】

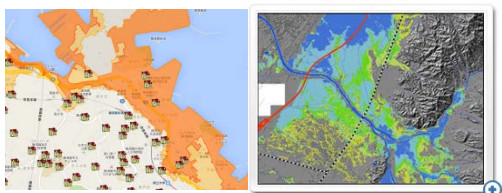


<将来> 他の地域、諸外国への普及展開



オープンデータによるG空間地域プラットフォーム整備事業

提案者	(株)横須賀テレコムリサーチパーク、神奈川県横須賀市、東京都豊島区、東京大学、(株)パスコ
実施地域	神奈川県横須賀市、東京都豊島区
事業概要	本事業は、歩行者移動支援サービスを実現するための高度な3次元地図の整備、ならびに身体障害者、外国人に対してのナビゲーション、ならびに災害時の避難案内を実現する。また、事業において、SNS型オープンバリアフリーマップの整備、オープンデータの整備、ならびに一般市民協働型のハッカソンイベントを行い、事業成果の実証評価を行う。



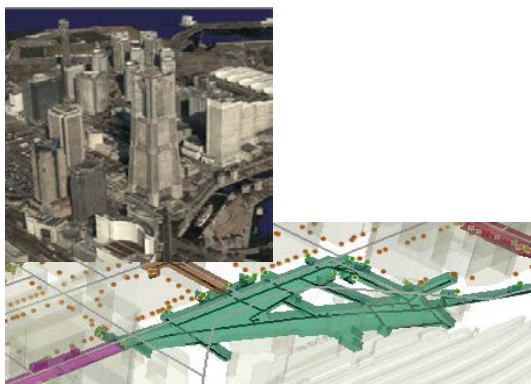
災害時避難所ナビ



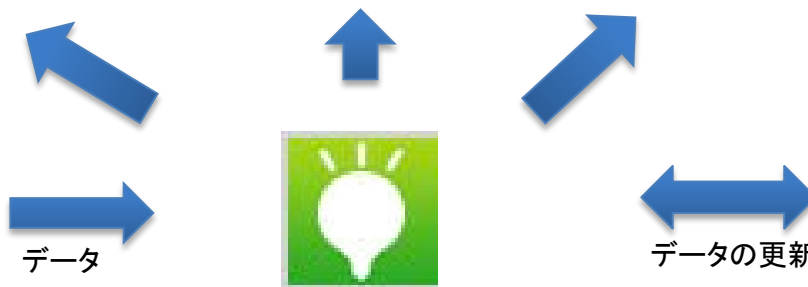
車いす・ベビーカーナビ



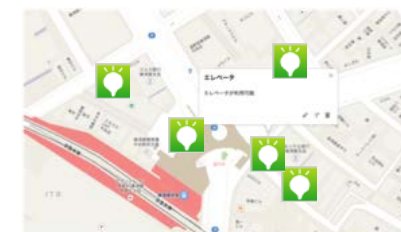
多言語ナビ



3次元地図データ整備
歩行空間ネットワークデータ整備



G空間地域プラットフォーム



SNS型オープンバリアフリーマップ